

十月初旬に、中国から児童の教育、福祉、保健の分野で行政の指導的立場にある方々が、日本の児童関係の仕事の現状の視察に来日された。その折に、お茶の水女子大学付属幼稚園と児童学科に半日をさいて訪問された。これまで欧米や東南アジアからは、多くのお客様が来られたが、中華人民共和国からの訪問ははじめてだったので、少なからず緊張して準備し、お迎えした。一行十名の方々は、紹介を伺うと、それぞれが行政面で大へんな責任を負っておられることがわかったが、いずれも、にこやかな五十代の女性であった。幼稚園見学のあと、二時間ほど児童の学術研究の現状を、児童科の先生方と共に説明し、懇談した。日本語を話す方はひとりもなく、英語をわかる方が三、四名あったが、中国文学の中山時子教授が通訳の勞をとってくださったのは有難いことであった。話される口調は穏やかだったが、私共が話した内容は

理解されており、大きな視野の中で考えられた質問がところどころになされたことに驚ろいた。東洋人はお互いに外見が似ていて、どの顔をもみても、ずっと以前から知っている人のような親しさを覚える。そして、この女性たちが、それぞれに、根本的なことに目をつけて、自分で考えている人たちであることが、話しの中に察せられ、そのことに新鮮さを感じさせられた。思えば、五十代のこの人達は、その若い日に、日本との戦争を体験してきた世代である。それから三十年の間に、いろいろのことがあったに違いないが、現代の中国をになうこの女性たちが、微笑みをもって、ゆったりと応答する姿には、同じ年代を過ぎてきた者として、考えさせられることが多くある。いつもは昼食から二時までにはゆっくりと休むのに、スケジュールが一杯で疲れたとのことであった。一九八一年一月号を迎える。

(津守真)

幼児の教育 第八十一巻 第一号

一月号 © 定価二七〇円

昭和五十六年十二月二十五日 印刷
昭和五十七年 一月 一日 発行

東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行人

東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都港区三田五ノ二二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京九一一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所 フレーベル館にお願いいたします

※万一製品不良品がございましたら、おとりかえいたします。